

日野第一小学校改築事業
第1回CS委員会　報告資料

2026年11月9日

本日の位置づけ

現在、「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」に基づき、日野第一小学校改築事業における基本計画の策定を進めています。

改築する校舎の具体的な整備内容や整備方針の検討にあたり、CS委員会の皆様に進捗状況をご報告し、地域・学校との情報共有を図ります。計画を検討するうえで、学校生活や地域での利用について、気になる点や配慮してほしいことをお聞かせください。

報告・情報共有の進め方

	日時	議事
第1回（本日）	R8.11.09	検討の進捗状況の報告
第2回	R9.1.30	計画方針の報告
第3回	R9.3.11	計画方針の報告

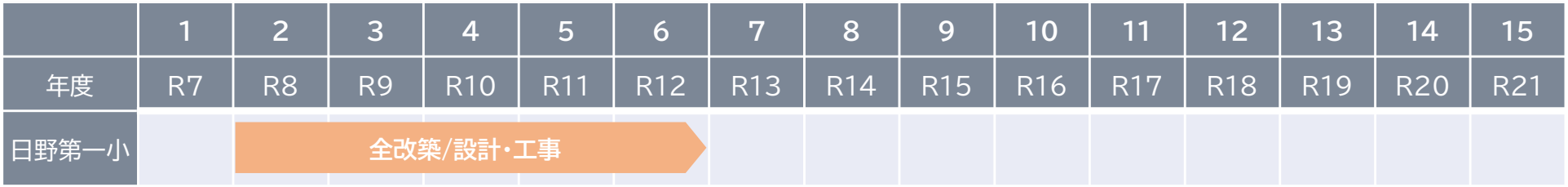
本日のご報告事項

- 現在の進捗状況
- 意見聴取結果（小学校教員へのアンケート結果）
- 配置方針・建設ステップの考え方

1.事業スケジュールについて

日野市立日野第一小学校及び南平小学校は、令和7年3月に策定した「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」（以下、推進計画という）に基づき、改築・長寿命化改修が予定されている日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る設計や工事等の一連の事業を計画的かつ効率的に進めるため、当該事業に係る基本計画（※）の策定を行うこととしました。

◆推進計画（R7.3）　※日野第一小のみ抜粋



◆現在の進捗状況（R8.11）



2027.7完了予定

【事業の概要】
- 業務名：日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る基本計画策定支援業務
- 受託者：明豊ファシリティワークス株式会社
- 委託期間：令和8年4月24日～令和9年7月15日まで

※基本計画とは、施設整備の目的や必要な機能、規模、整備の進め方などについて整理し、今後の施設整備や設計の方向性の基礎となる考え方をまとめるものです。

２．事業の概要

日野第一小現況配置図



施設概要	• 敷地17,538㎡ • 校舎棟：RC造3F。4,536㎡　築62年 • 屋内運動場：S造2F。874㎡　築43年
学級数等	• R8：普通16＋特別支援4（計20） • 児童数472＋29（計501人） • 学級数の推計値：R14（16～18）
計画概要	• 全部改築 • 事業期間：R９～１５年度（予定）

３．検討の進捗状況

主な実施事項

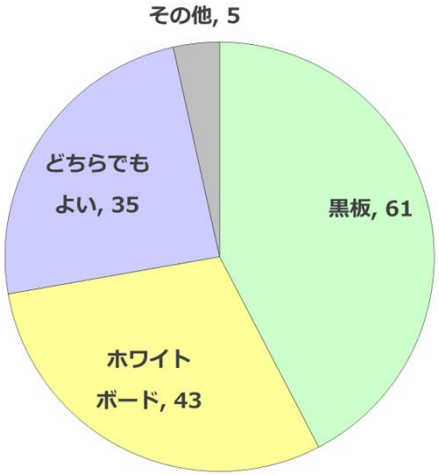
調査,課題整理	• 推進計画内容の確認 • 現地調査、改修や建築確認履歴を確認 • 学級数推計値の精査、想定補助金額の把握　等	完了
プラン検討	• 面積等の規模の精査 • 地域開放、避難所運営を考慮したゾーニング • ZEB等（断熱・太陽光）の方向性の確認 • 普通教室廻りのプラン検証 • 配置計画、仮設校舎配置の検討	進行中
意見聴取	• 庁内要望の集約、確認 • 小学校教員へアンケート実施	進行中
発注方式	• 基礎資料の整理、事業者サウンディング調査実施	進行中
合意形成	• 経過報告の庁内確認	進行中

４．意見聴取（小学校教職員アンケート結果概要）

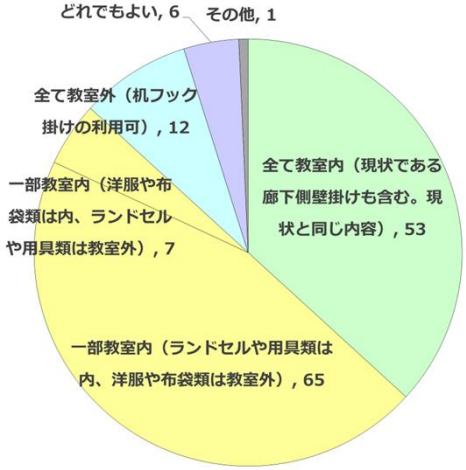
- 一小改築、南平小改修の基本計画策定を進めるにあたり、今後の学校における普通教室まわりの更新内容を決めていくため、日野市立小学校に勤務する教職員を対象にアンケートを実施
- 回答した教職員からは、従来の学校運営のしやすさを重視しつつも、可動間仕切りや大型ディスプレイなどを活用した柔軟で多様な学習環境を求める意見が多く見られました。

● 実施期間：令和8年7月8日～8月21日
● 対象　　：日野市立小学校に勤務される教職員　約680名　　回答数　：144件（回答率21.2%）

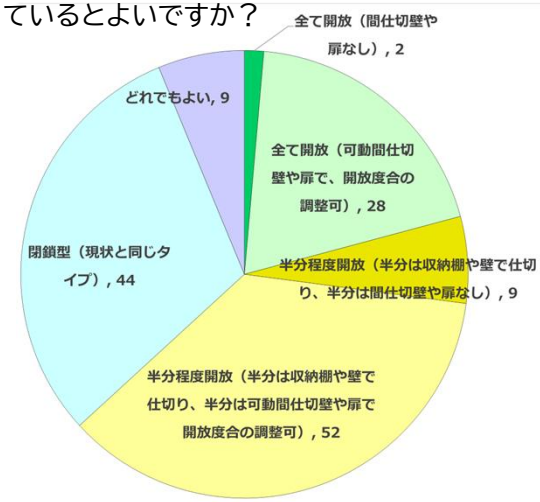
Ｑ１：教室には、黒板とホワイトボードのどちらがよいですか？？



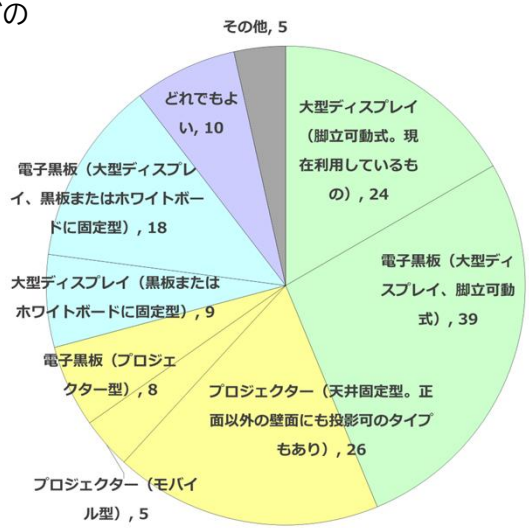
Ｑ２：児童用収納の配置は、教室内、教室外どちらがよいですか？



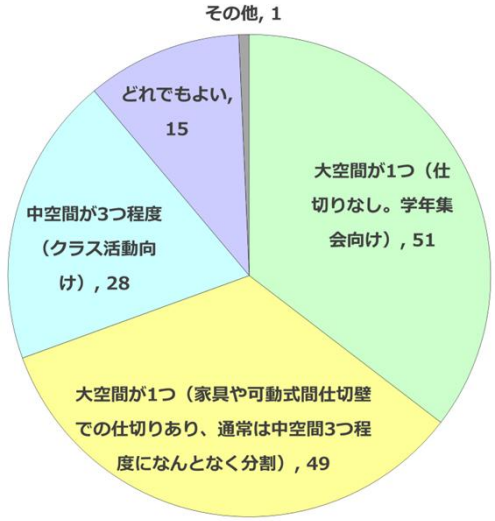
Ｑ３：教室と周囲のスペースは、どの程度つながっているとよいですか？



Ｑ４：授業で使う映像機器は、どの種類がよいですか？



Ｑ５：
各学年に設けるオープンスペースの広さは、大空間、中空間、どちらがよいですか？



5.事業規模について

- 「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」に定める必要な機能・考え方を考慮し、規模を検討した結果、延床面積約8,000㎡～9,000㎡（体育館、学童を含む）を必要面積の目安として想定しています。

6.配置計画の考え方

- 配置計画の考え方については、仮設計画の有無により、大きく下記の2パターンが想定されます。
  ※いずれのパターンの場合でも、工事期間中には校庭利用に制約が生じる点に留意が必要です。

● A案：　仮設校舎を使い、今の校舎がある場所に建替える案
● B案：　今の校舎を使いながら現在の校庭に校舎を建て替える案

A案



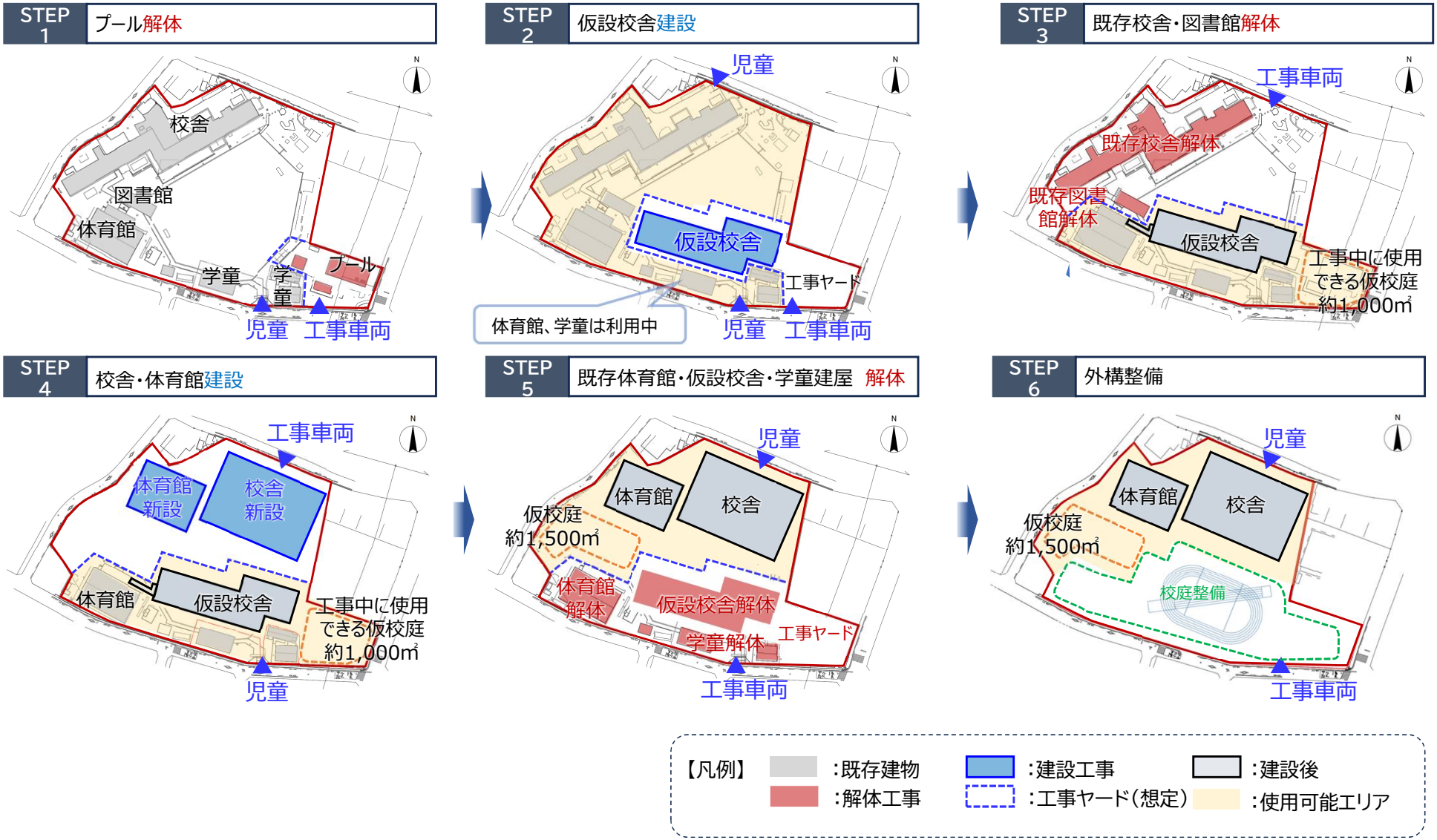
✓ 今の校舎がある場所に建て替え
✓ 建設工事期間中は、仮設校舎を設けて仮移転する必要がある

B案

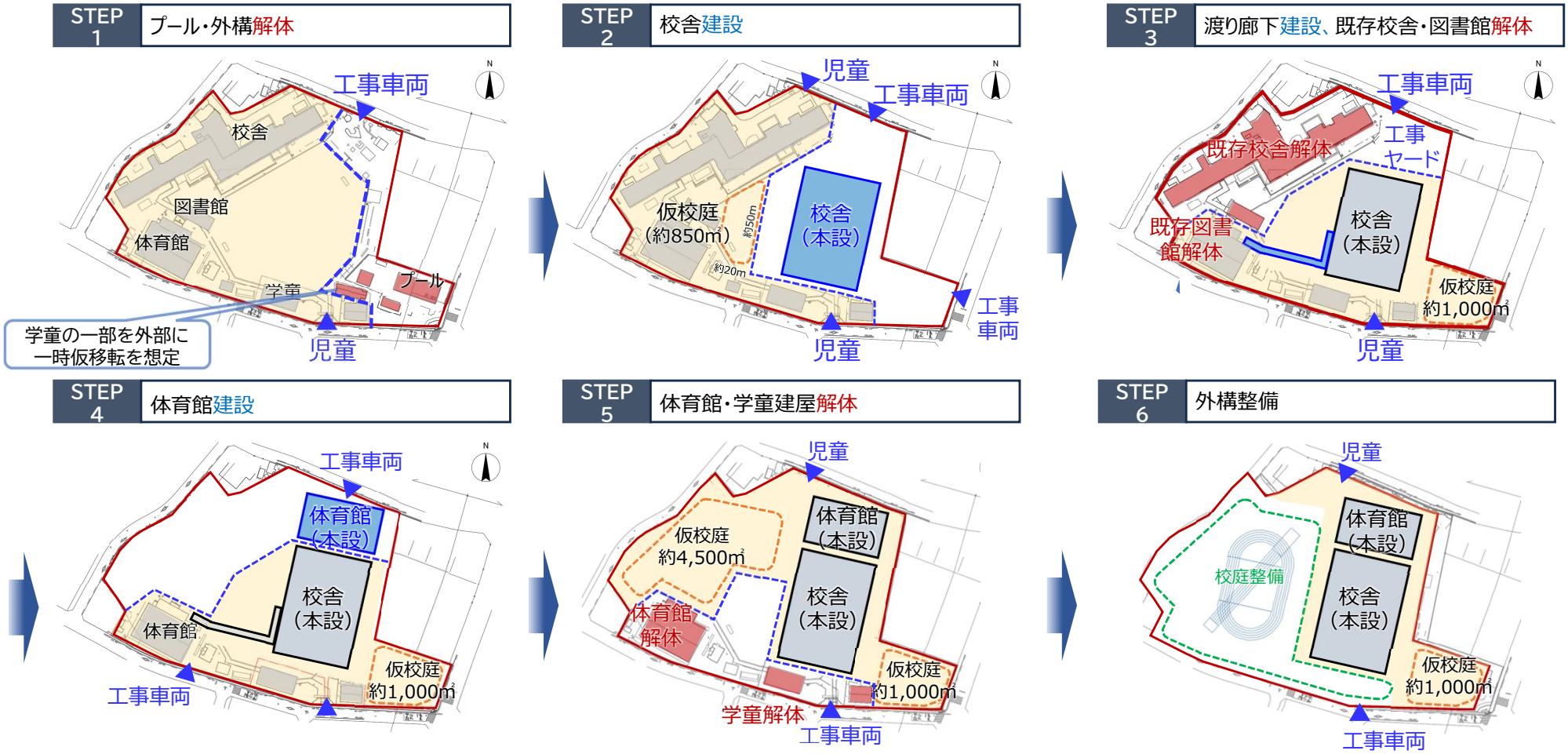


✓ 現在の校庭に校舎を建て替え
✓ 仮設校舎が不要となる

A案（仮設校舎を使い、今の校舎がある場所に建替える案）の建設ステップイメージ



B案（今の校舎を使いながら現在の校庭に校舎を建て替える案）の建設ステップイメージ



【凡例】
:既存建物
:解体工事
:建設工事
:工事ヤード（想定）
:建設後
:使用可能エリア

7. 配置方針

	A案 （仮設校舎を使い、今の校舎がある場所に建替える案）		B案 （今の校舎を使いながら現在の校庭に校舎を建て替える案）	
配置イメージ				
教育環境	★★★	• 推進計画に基づいた教育環境が実現可能	★★★	• 推進計画に基づいた教育環境が実現可能
建設ステップ・工期	★★	• 仮設校舎の建設･解体が必要となるのでその分の工期が必要	★★	• 既存校舎の解体が終わるまで体育館が建設できない
コスト	★	• 仮設校舎の建設費用と仮移転費用が必要	★★★	• 仮設校舎の建設費用と仮移転費用が不要
居住環境	★★	• 校舎が北側、校庭が南側	★★	• 校舎が東側、校庭が西側 ※方位による影響は計画の工夫により解決することが可能
周辺への影響	★★	• 敷地東側への配慮が必要だが、日影による影響はほとんど無いと考えられる。 • 隣接する保育園と連携しやすい。	★★	• 敷地東側への配慮が必要だが、日影による影響はほとんど無いと考えられる • 隣接する保育園と連携しやすい

配置方針（案）

- 両配置案とも教育環境上の大きな優劣は認められない。
- 仮設校舎を必要としない案は、事業費の抑制や学校運営への影響低減が期待できる。

→以上より、仮設校舎を整備しないB案を有力な案として、具体的な検討を進めていきます。

8. プール施設の方向性

＜学校プール施設に係る課題＞
- 屋外プール施設の老朽化（日野第一小：築56年）、昨今の酷暑等によるプール授業中止の増加
  （中長期的には屋外プール運営は困難）
- 学校施設全体の整備コストの増加、市全体での公共施設再編に伴う総量縮減の方向性（面積・コスト抑制へ）
- 市営プール施設老朽化に伴う施設維持に課題
- 校舎等に比べ費用対効果が不良（限定的な使用期間・維持費負担）

＜日野第一小改築に伴うプール施設更新に係る選択肢＞
- プール施設を撤去して、工事ヤードや工事中の仮校舎として利用できる建設ステップの条件は、建設コスト削減、工事中の学校運営に貢献
- プール撤去後に改築する場合は、整備費が増加するため、全体建設費への影響あり（環境性能・防災機能のダウンなど）

＜日野第一小のプール施設整備の方向性＞
- 上述の課題等から、日野第一小学校改築事業では、プール施設は更新せず撤去するものとし、建設開始する年度以降は自校以外のプール施設を利用（消防水利の機能は別に代替措置を検討）